

第39回全国在日外国人教育研究集会・京都大会にご参加を！

多文化共生社会の実現のための教育を創造しよう

第39回全国在日外国人教育研究集会（京都大会）

日本社会のありようは、より多様化しています。それにともない多文化共生社会を希求する声も増々高まってきました。そうした中、外国にルーツをもつ若者たち自身による課題解決に向けたとりくみや、コミュニティづくりに参加する姿が見られるようになってきました。しかし、未だ在日外国人に対する差別は解消されていません。

全外教は、在日コリアンへの差別撤廃や進路保障のとりくみを出発点に、すべての子どもたちの自立と連帯の場づくりを保障する運動や実践にとりくんできました。また、全国の在日外国人教育や多文化共生教育に関心のある教育関係者やNPO関係者等に呼びかけ、日頃のとりくみやさまざまな課題を共有し交流する場として、全国在日外国人教育研究集会を開催してきました。

私たちは、子どもたちが自らのルーツや文化を隠さざるを得ない日本社会のありようを変革したいと考えています。各自の違いをあたりまえのこととして受けとめ、それをもって差別や排外に転化するのではなく、むしろ人と人との関係の中で、違いをより豊かなものにしていく方向に変えていきたいと思っています。在日外国人教育のとりくみを全国各地で積極的に推進させる必要があります。差別と排外を生み出す土壌そのものを変えなければ、私たちがめざす多文化共生社会は実現されようはずがないからです。

二〇一六年、いわゆる「ヘイトスピーチ解消法」が施行されました。同法を受け、文部科学省は、「法を踏まえた適切な対応について」留意を促す通知を各都道府県教育委員会に出しています。しかし、教育現場において、子どもたちがヘイトスピーチの被害者となる事例や、加害者となる事例が数多く報告されています。友だちから差別された子どもが受けた傷はより深刻です。一方、加害者の側は差別煽動に騙されていることに気がつきません。目の前の実態を掘り起こし、子どもたちを被害者にも加害者にもしないとりくみを進める必要があります。

第三十九回全国在日外国人教育研究集会は、京都で開催いたします。多文化共生社会実現にむけ、各現場での実践を持ち寄り交流し、課題解決に向けた論議を深めたいと思います。

分科会でのレポートは、社会や教育現場の具体的な課題やとりくみ（実践）を学ぶ機会となります。さらに、子どもたち自身の交流も深めたいと思います。全国在日外国人生徒交流会に集う子どもたちは、自らの立場を明らかにし、交流を深める中で差別に抗う姿を見せてくれます。こうした流れも閉ざしてはなりません。ぜひ京都大会にご参加いただき、つながりを深める機会にさせていただきますよう、お願いいたします。



第28回全外教京都大会・全国在日外国人生徒交流会

□日程・内容 《2018年》

全国在日外国人生徒交流会
8月3日（金）～4日（土）
甲良町立甲良東小学校
（滋賀県甲良町横関 215）

開会行事・全体会

8月4日（土）
会場：同志社大学臨光館
（新町キャンパス）
（京都市上京区新町通今出川上ル近衛殿表町 159-1）
京都市営地下鉄今出川駅下車西へ500m

分科会

8月5日（日）
会場：同志社大学臨光館
（新町キャンパス）

□参加資料代

3,000円

□申し込み

当日会場にて
関係者以外入場できません

主催：全国在日外国人教育研究協議会

後援：京都府教育委員会・京都市教育委員会・甲良町・甲良町教育委員会・部落解放長寺子どもを守り育てる会

連絡先：奈良市大安寺 1-23-1 県人権センター・多文化共生フォーラム奈良内 全外教京都大会事務局 tel:080-4490-4164 e-mail:mail@zengaikyo.org